

Babylog8000 における Volume guarantee の使用経験

北海道大学医学部附属病院分娩部
長 和俊, 松本憲則, 松田 直, 岡嶋 覚

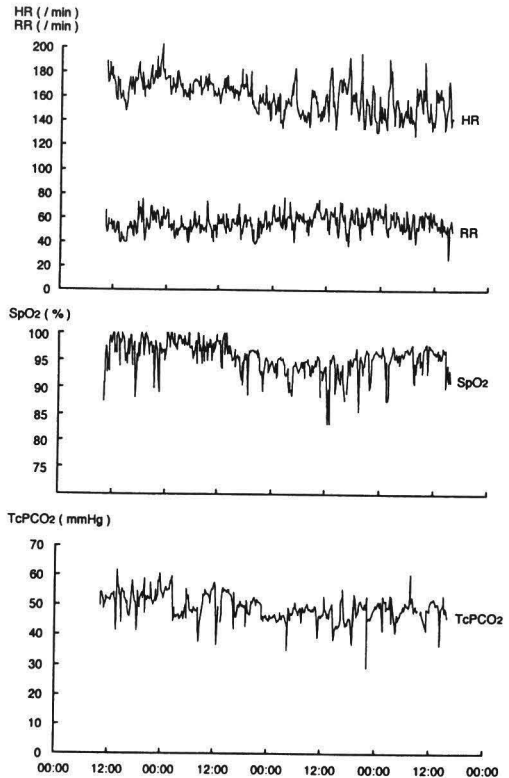
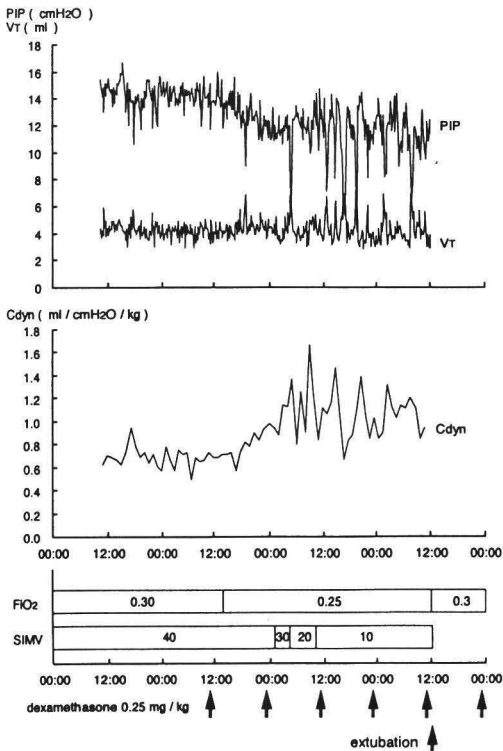
Babylog 8000 respirator (Dräger) に'plus'された新しいオプションの一つである Volume guarantee (VG) は, SIMVと併用する機能で, 一回換気量(V_T)が設定した値になるように最大吸気圧(PIP)が変動する換気方法である。慢性肺疾患の超低出生体重児に対してVGを使用する機会を得たので報告する。

対象は, 母体の抗リン脂質抗体症候群に伴う胎児発育遅延と胎児仮死のため帝王切開で出生した, 妊娠28週3日, 出生体重470g, non-RDSの女児である。SIMVによる呼吸管理中に肺炎を合併し, 慢性肺疾患に移行したため, 日齢34(体重615g)よりデキサメサゾン療法(D療)を開始した。D療開始48時間前よりVGを開始し, V_Tを4.5mlに設定した。Babylog 8000からの出力(PIP, V_T)をビューリンクを介してHPモニターに入力し, 心拍数, 呼吸数, TcPO₂, TcPCO₂,

SpO₂とともにMECIF software を用いて1分毎にコンピュータに記録した。また, Babylog 8000に表示される動肺コンプライアンス(C_{dyn})を1時間毎に記録した。

測定値の経過をグラフに示す。D療開始4時間後よりC_{dyn}の改善に伴いPIPが低下し, 49時間後に抜管した。

VGは体重615gの超低出生体重児に対しても良好に作動した。超低出生体重児の呼吸管理に際し, 生後2週間頃より体動に伴う酸素化の変動が増加し, PIPの設定を上昇せざるを得ない事が多いが, こういった慢性肺疾患の初期の病態に対しVGを使用することで, 必要最低限のPIPで管理できることが予想される。今後, 慢性肺疾患の予防・治療におけるVGの有用性を検討する価値があると考えられた。





Dräger

The Key to Breathing Harmony

人工呼吸器にとって重要なことは、患者の要求に合った呼吸を送り込むと同時に、人工換気による肺損傷やエア・トラッピングのような障害を起こさないようにすることです。

つまり、呼吸の流れそのものに調和すること。

“The Key to Breathing Harmony”

それがベビーログ8000のコンセプトです。

未熟児・新生児用人工呼吸器 ベビーログ8000

- PSVを新しく加え、世界最多の換気モードを装備*
 - 肺機能モニタリングを新しく追加
 - お手持ちのベビーログ8000からのアップグレード可能
- *オプションを含む

薬事承認番号/20300BZY00672000

輸入販売元

日本ドレーゲル株式会社

■本社/東京営業所	〒106-0047 東京都港区南麻布2-1-18	TEL 03-3280-4721	FAX 03-3280-4740
■札幌営業所	TEL 011-716-7565	■仙台営業所	TEL 022-715-6751
■名古屋営業所	TEL 052-882-7039	■福岡営業所	TEL 092-441-5655
■大阪営業所	TEL 06-945-6263	■広島営業所	TEL 082-228-4112